

2023年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年6月14日

上場会社名 パーク24株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4666 URL https://www.park24.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 光一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 實貴 孝夫 (TEL) 03-6747-8120
 四半期報告書提出予定日 2023年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	157,078	15.6	15,097	171.7	11,493	191.0	7,979	—
2022年10月期第2四半期	135,891	11.5	5,556	—	3,948	—	△630	—

(注) 包括利益 2023年10月期第2四半期 9,550百万円(—%) 2022年10月期第2四半期 △2,746百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年10月期第2四半期	円 銭 46.80	円 銭 42.56
2022年10月期第2四半期	△4.08	—

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年10月期第2四半期	百万円 310,419	百万円 49,592	% 16.0
2022年10月期	307,626	40,042	13.0

(参考) 自己資本 2023年10月期第2四半期 49,530百万円 2022年10月期 39,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年10月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2023年10月期	—	0.00	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	326,000	12.3	31,500	52.4	25,500	50.3	14,500	485.4	85.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2023年6月14日)公表いたしました「2023年10月期第2四半期業績予想と実績との差異及び営業外費用(為替差損)の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年10月期2Q	171,048,369株	2022年10月期	171,048,369株
2023年10月期2Q	528,494株	2022年10月期	528,434株
2023年10月期2Q	170,519,895株	2022年10月期2Q	154,785,209株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間（2022年11月 1 日～2023年 4 月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の影響が緩やかになる一方で、長期化するロシア・ウクライナ情勢に伴う資源・エネルギー価格の高騰や世界的な物価上昇、各国の金融引き締めによる急激な為替変動など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。日本経済においては、第 1 四半期連結会計期間に一時的に新規感染者数の再拡大がみられましたが、ワクチン接種の進展等による感染対策と経済活動の両立が進められ、資源高や円安進行による物価上昇はあるものの、個人消費や企業の設備投資を中心に持ち直しの動きがみられました。

このような環境のもと、当社グループは、中期事業方針「4つのネットワーク（人・クルマ・街・駐車場）の拡大とシームレス化」の達成を目指し、再び成長路線に回帰するため、各事業の拡大を図っております。さらに、「シームレス化」をより強力に推進するための「デジタル戦略の推進」を方針に掲げ、成長投資を加速させております。なお、4つのネットワークの1つである「人（会員）」については、中期目標であるタイムズクラブ会員数 1,000万人を2023年 1 月に達成いたしました。

営業概況といたしましては、国内外事業ともに前連結会計年度から継続している各種施策の効果に加え、外部環境の改善もあったことから、総じて堅調な推移となりました。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間の当社グループ業績は、売上高は1,570億78百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は150億97百万円（同171.7%増）となりました。経常利益は、営業外費用として主に英国現地法人に対する外貨建貸付金の当第 2 四半期連結会計期間末為替レートによる評価替えに伴う為替差損17億37百万円を計上したことから114億93百万円（同191.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は79億79百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失 6 億30百万円）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

駐車場事業国内

第 1 四半期連結会計期間に一時的に新規感染者数が再拡大したものの行動制限等の実施はなく、当第 2 四半期連結累計期間としては順調に推移しました。

これまで感染症禍で行ってきた確実に収益化する駐車場のみに絞った厳選開発等のノウハウを活かし、エリアの状況に合った開発を行うことで収益性を維持した駐車場の拡大を図っており、当第 2 四半期連結累計期間は504件の開発をしております。また、利便性向上に向けた取り組みとして、パートナーサービス（施設付帯の駐車場運営サービス）向けにカメラで出入庫の管理を行う駐車場の開発や、精算・決済手段を多様化することでキャッシュレス化を推進するなど、より簡単に出入庫や支払いが可能な次世代駐車場サービスの構築を進めております。

この結果、国内におけるタイムズパーキングの運営件数は17,509件（前連結会計年度末比0.6%増）、運営台数は568,820台（同3.0%増）、月極駐車場及び管理受託駐車場等を含めた総運営件数は25,277件（同0.1%増）、総運営台数は753,574台（同2.8%増）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は815億81百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は176億 1 百万円（同14.7%増）となりました。

駐車場事業海外

主要な展開地域における状況につきましては、英国においては、駐車場の稼働は総じて堅調な推移となりました。豪州については、2022年11月にクイーンズランド州で感染者数の増加に伴い警戒レベルが引き上げられたものの影響は限定的となり、駐車場の稼働は堅調に推移しました。その他の地域につきましては、台湾を中心に順調に推移いたしました。

また、国内の駐車場事業戦略である「小型・分散・ドミナント化」をベースに、各国の駐車場需要環境に最適化した短期契約駐車場の開発を促進・量産化することで、大型かつ長期契約駐車場に偏った事業ポートフォリオを見直し、事業リスクを低減させるとともに早期の黒字化に努めております。また、感染症禍で急速に進んだキャッシュレス決済への対応を引き続き推進することでお客様の利便性と満足度向上を図っております。

この結果、海外の駐車場の総運営件数は2,383件（前連結会計年度末比0.8%増）、総運営台数は535,374台（同4.4%減）となり、日本を含む全世界における駐車場の総運営件数は27,660件（同0.2%増）、総運営台数は1,288,948台（同0.3%減）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は327億75百万円（前年同期比27.8%増）、営業損失は8億84百万円（前年同期営業損失34億37百万円）となりました。

※当第2四半期連結累計期間における海外グループ会社の連結対象期間は2022年10月1日～2023年3月31日となります。

モビリティ事業

タイムズカー（カーシェアとレンタカーの融合サービス）については、車両を増加させつつ需要に合わせた適正配備をすることにより、旺盛な個人の観光需要や法人の出張需要等を取り込んだほか、個人・法人ともに需要喚起に向けたキャンペーンを実施したことなどにより、会員数及び利用が順調に増加し、車両1台当たり利用料売上高は好調に推移しました。また、当第2四半期連結累計期間において増車した車両台数は3,528台、開設した貸出拠点数は895箇所と、ネットワーク拡大に向けた増車の体制構築は順調に進捗しております。

この結果、モビリティ車両台数は56,590台（前連結会計年度末比6.6%増）、貸出拠点数は15,027箇所（同6.3%増）、会員数は2,181,431人（同6.9%増）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は453億33百万円（前年同期比28.1%増）、営業利益は56億85百万円（前年同期営業損失98百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比27億92百万円増加して3,104億19百万円となりました。主な増減といたしましては、増加でその他流動資産を含む流動資産が31億6百万円、投資その他の資産が4億28百万円、減少で使用権資産を含む有形固定資産が7億14百万円となっております。

負債合計は、同67億57百万円減少し、2,608億26百万円となりました。主な減少といたしましては、長期借入金を含む固定負債が44億21百万円、1年内返済予定の長期借入金を含む流動負債が23億36百万円となっております。

純資産は、同95億50百万円増加し495億92百万円となりました。主な増加といたしましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が79億79百万円、為替換算調整勘定が16億28百万円となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて2億59百万円減少し、848億5百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、243億53百万円（前年同期比193億68百万円の増加）となりました。主な内訳といたしましては、減価償却費を加えた税金等調整前四半期純利益272億11百万円、未払金の増加額23億11百万円、棚卸資産の減少額22億72百万円があった一方、法人税等の支払額78億36百万円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用したキャッシュ・フローは、101億11百万円（同25億76百万円の支出の増加）となりました。これ

は主として、タイムズパーキングへの設備投資やモビリティ車両の取得などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、146億円の資金の支出（同71億86百万円の支出の増加）となりました。これは主に新株予約権付社債の発行による収入があった一方、新株予約権付社債の償還による支出や長期借入金及びリース債務の返済による支出があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期の連結業績予想につきましては、当第 2 四半期連結累計期間の業績や当社グループを取り巻く経営環境等を勘案した結果、2022年12月15日に公表しました予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2023年10月期第 2 四半期業績予想と実績との差異及び営業外費用（為替差損）の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2 四半期連結会計期間 (2023年 4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,781	85,614
受取手形及び売掛金	20,783	20,202
棚卸資産	2,497	2,761
その他	29,890	33,421
貸倒引当金	△1,138	△1,078
流動資産合計	137,814	140,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,986	28,745
機械装置及び運搬具（純額）	28,761	30,343
土地	25,747	25,747
リース資産（純額）	7,410	6,905
使用権資産（純額）	21,288	19,165
その他（純額）	5,463	6,036
有形固定資産合計	117,658	116,943
無形固定資産		
のれん	18,147	17,327
契約関連無形資産	9,453	9,459
その他	6,457	7,306
無形固定資産合計	34,058	34,093
投資その他の資産	17,796	18,225
固定資産合計	169,513	169,262
繰延資産	297	236
資産合計	307,626	310,419
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	650	651
短期借入金	17,309	17,172
1年内返済予定の長期借入金	16,001	10,863
リース債務	11,047	9,791
未払法人税等	7,302	4,791
賞与引当金	2,446	2,487
その他	45,929	52,593
流動負債合計	100,687	98,351
固定負債		
新株予約権付社債	35,000	42,310
長期借入金	96,398	85,970
リース債務	19,158	17,414
資産除去債務	9,474	9,580
繰延税金負債	1,658	1,659
その他	5,207	5,541
固定負債合計	166,897	162,475
負債合計	267,584	260,826

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2023年 4 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,739	32,739
資本剰余金	28,326	28,326
利益剰余金	△7,050	929
自己株式	△1,255	△1,255
株主資本合計	52,758	60,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	135
繰延ヘッジ損益	△27	△26
土地再評価差額金	△1,035	△1,035
為替換算調整勘定	△9,117	△7,488
退職給付に係る調整累計額	△2,719	△2,792
その他の包括利益累計額合計	△12,778	△11,207
新株予約権	62	62
純資産合計	40,042	49,592
負債純資産合計	307,626	310,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2021年11月 1 日 至 2022年 4 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年11月 1 日 至 2023年 4 月30日)
売上高	135,891	157,078
売上原価	106,207	115,463
売上総利益	29,684	41,614
販売費及び一般管理費	24,128	26,517
営業利益	5,556	15,097
営業外収益		
社債償還益	-	276
その他	515	253
営業外収益合計	515	530
営業外費用		
支払利息	1,639	1,917
為替差損	121	1,737
その他	361	480
営業外費用合計	2,122	4,135
経常利益	3,948	11,493
特別利益		
投資有価証券売却益	-	979
その他	0	-
特別利益合計	0	979
特別損失		
固定資産除却損	36	141
その他	1,499	0
特別損失合計	1,536	141
税金等調整前四半期純利益	2,413	12,331
法人税、住民税及び事業税	4,159	4,657
法人税等調整額	△1,115	△306
法人税等合計	3,044	4,351
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△630	7,979
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△630	7,979

四半期連結包括利益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2021年11月 1 日 至 2022年 4 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年11月 1 日 至 2023年 4 月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△630	7,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	14
繰延ヘッジ損益	45	1
為替換算調整勘定	△789	1,628
退職給付に係る調整額	△1,362	△73
その他の包括利益合計	△2,115	1,570
四半期包括利益	△2,746	9,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,746	9,550

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,413	12,331
減価償却費	15,212	14,880
のれん償却額	579	637
固定資産除却損	36	141
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△979
売上債権の増減額 (△は増加)	△289	584
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,081	2,272
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33	7
未収入金の増減額 (△は増加)	550	△581
前払費用の増減額 (△は増加)	△2,914	△1,005
未払金の増減額 (△は減少)	△6,972	2,311
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,081	1,204
設備関係支払手形の増減額 (△は減少)	34	115
その他	840	2,191
小計	6,457	34,110
利息及び配当金の受取額	8	7
利息の支払額	△1,654	△1,927
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	173	△7,836
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,985	24,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△6
定期預金の払戻による収入	6	6
有形固定資産の取得による支出	△5,556	△8,896
有形固定資産の売却による収入	7	3
無形固定資産の取得による支出	△1,338	△910
投資有価証券の売却による収入	-	1,063
長期前払費用の取得による支出	△482	△1,048
その他	△164	△323
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,535	△10,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△44	△0
長期借入れによる収入	121	-
長期借入金の返済による支出	△25,585	△15,535
新株予約権付社債の発行による収入	-	34,911
新株予約権付社債の償還による支出	-	△27,413
リース債務の返済による支出	△7,032	△6,561
株式の発行による収入	25,134	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△6	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,414	△14,600
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,042	98
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,922	△259
現金及び現金同等物の期首残高	91,795	85,065
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,872	84,805

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2 四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業国内	駐車場 事業海外 (注) 1	モビリティ 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	69,071	24,498	34,294	127,864	—	127,864
その他の収益	5,857	1,143	1,026	8,027	—	8,027
外部顧客への売上高	74,929	25,641	35,320	135,891	—	135,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,384	—	60	2,445	△2,445	—
計	77,314	25,641	35,381	138,337	△2,445	135,891
セグメント利益又は損失(△)	15,340	△3,437	△98	11,803	△6,247	5,556

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の駐車場事業海外の△3,437百万円には、のれんの償却額△579百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

Ⅱ 当第2 四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業国内	駐車場 事業海外 (注) 1	モビリティ 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	72,877	31,627	44,111	148,616	—	148,616
その他の収益	6,184	1,147	1,130	8,462	—	8,462
外部顧客への売上高	79,062	32,775	45,241	157,078	—	157,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,519	—	92	2,611	△2,611	—
計	81,581	32,775	45,333	159,690	△2,611	157,078
セグメント利益又は損失(△)	17,601	△884	5,685	22,402	△7,304	15,097

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の駐車場事業海外の△884百万円には、のれんの償却額△637百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。